

1. 教員および授業の概要

①教員名： 光延 忠彦 (Mitsunobu Tadahiko)

②担当科目

- ・ 博士前期課程:地域開発政策専門講義 5(地方行政学)地域開発政策研究指導 I～IV

③教員のプロフィール

- ・ 東京大学大学院法学政治学研究科政治専攻修士課程修了 (法学修士)、千葉大学大学院社会文化科学研究科日本研究専攻博士課程修了 (法学博士)。2009年4月着任。

④所属学会

日本政治学会、日本行政学会、自治体学会、日本カリキュラム学会

⑤研究領域や関心をもっているテーマ

- ・ 政治理論における統治可能性についての有用性と限界性を政治過程において検討。

⑥研究指導方針

文献の精読とそのプレゼンテーション、さらにそれに対する積極的質疑を重視する。

⑦指導可能な研究テーマ (あるいは過去 (現在) に指導した研究テーマ)

- ・ 現代日本政治論
- ・ 国や自治体における異なるレベルの選挙分析

2. 研究業績リスト

(著書) : 1. 3研究の概要(1)調査。 II研究の成果1. 千葉県における外国人児童生徒の就学の実態と課題(1)課題及び解決の方向性。	共著	2008年3月	外国人児童生徒受入体制整備研究会編『外国人児童生徒受入体制整備に関する研究 研究報告』千葉県教育庁企画管理部教育政策課、2008年。4-15頁及び55-60頁。執筆者(執筆順) 田村哲夫、佐藤健太郎、村瀬光生、光延忠彦、宍倉弘治、井上恵子、植田栄子、横山解子、井上恵一。
(学術論文) 1. 統治システムの管理の視座—東京都政を中心に—	単著	2011年3月	千葉大学大学院人文社会科学研究科編『人文社会研究』第22号、52-68頁。
2. 東京都政における政党政治の危機(2—完)	単著	2011年3月	島根県立大学総合政策学会編『総合政策論叢』第21号、65-92頁。
3. 東京都政における政党政治の危機(1)	単著	2011年2月	島根県立大学総合政策学会編『総合政策論叢』第20号、23-45頁。
4. 都政論再考—統治システムの管理を中心に—	単著	2010年9月	千葉大学大学院人文社会科学研究科編『人文社会科学研究』第21号、1-13頁。
5. 自治体行政と日本語の指導を必要とする外国人児童生徒の教育—「少言語集中型」と「多言語分散型」を中心に—	単著	2009年9月	千葉大学大学院人文社会科学研究科編『人文社会科学研究』第19号、72-90頁。
6. 80年代中期から90年代初頭における鈴木都政—臨海開発計画と住宅政策を中心に—	単著	2009年6月	静岡産業大学経営研究所編『環境と経営』第15巻第1号、21-35頁。
7. 教育委員会制度に関する一考察	単著	2008年12月	静岡産業大学経営研究所編『環境と経営』第14巻第2号、35-40頁。
8. 地域福祉における行政の課題—日本語の指導を必要とする外国人児童生徒の場合—	単著	2008年6月	静岡産業大学経営研究所編『環境と経営』第14巻第1号、25-37頁。
9. 戦後都議会の変容と政党システム	単著	2008年3月	千葉大学大学院人文社会科学研究科編『人文社会科学研究』第16号、31-41頁。
10. 政治的リーダーシップ—90年代の東京都政—	単著	2007年3月	千葉大学大学院人文社会科学研究科編『人文社会科学研究』第14号、1-16頁。
11. 安定的統治の政治的条件—80年代の鈴木都政を中心として—	単著	2006年5月	日本行政学会編『年報行政研究』第41号、173-192頁。公募論文の部
12. 鈴木都政における政治経済学(2)	単著	2006年3月	千葉大学大学院社会文化科学研究科編『社会文化科学研究』第12号、24-37頁。
13. 鈴木都政における政治経済学(1)	単著	2005年9月	千葉大学大学院社会文化科学研究科編『社会文化科学研究』第11号、1-15頁。

14. 博士論文：東京の政治—統治システムの管理から—	単著	2005年3月	千葉大学大学院社会文化科学研究科および国会図書館に所蔵。400字詰原稿用紙1132枚。
15. 都政の隘路—知事支持派のフラグメンテーション—	単著	2001年9月	東京市政調査会編『都市問題』第92巻第9号、91—107頁
16. 東京都政における知事選挙—「政界再編」と地方政治の関係から—	単著	1999年3月	東京大学大学院法学政治学研究科編『専修コース研究年報1998年版』、320—325頁。
17. 修士論文：東京都政における知事選挙—「政界再編」と地方政治の関係から—	単著	1999年3月	東京大学大学院法学政治学研究科所蔵。 400字詰原稿用紙192枚
18. 書評：経済政策重視の新しい社会党像—戦後初期の政党政治から震災復興を考える—『経済復興と戦後政治』東京大学出版会、1998年。	単著	2011年9月	千葉大学大学院人文社会科学研究科編『人文社会科学』第23号、70—75頁。
19. 書評 樺嶋秀吉「知事の仕事：一票が地域と政治を変える」朝日新聞社、2001年	単著	2002年3月	千葉大学大学院社会文化科学研究科所蔵。400字詰原稿用紙40枚。 書評論文。1-10頁。
20. 書評 Beard Charles Austi “ <i>The administration and politics of Tokyo: a survey and opinions</i> ” 東京都政調査会、1964	単著	2001年3月	千葉大学大学院社会文化科学研究科所蔵。400字詰原稿用紙24枚。1-6頁。

3. 主要業績とその概要

「安定的統治の政治的条件—80年代の鈴木都政を中心として—」日本行政学会編『橋本行革の検証』ぎょうせい、2005年、173—192頁。

鈴木都政は、自公民三党体制に支えられて80年代初頭には財政再建に成功したが、80年代末期の財政運営においては対応が不十分となり、90年代中葉に至って退場した。興味深いのは、80年代初頭に成功した統治が、80年代末期には危機を招いたことである。両政治過程の対比では、80年代初頭には多数の知事支持派によって安定的統治が現出されたが、80年代末期ではその知事支持派に異同があり、それが統治の不安定要因になったということである。

4. 学生に対するメッセージ

「優れた人は静かに身を修め、徳を養う。無欲でなければ志は立たず、穏やかでなければ道は遠い。学問は静から、才能は学から生まれる。学ぶことで才能は開花する。志がなければ学問の完成はない。」
(諸葛孔明の『誠子書』より解釈)